



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：馬場 貴博 / 副会長：宮崎 正典 / 幹事：片桐 康利



2023～2024 年度クラブスローガン

はがにいっしょう

「破顔一笑」

みんなで語り合えるクラブになるために

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：山口 裕之、川上 仁哉、西村 浩輝、古川 直記、四元 清安、田中 啓輔、倉科 聡一郎、藤井 寿人

本日の出席率85.1%：会員数54名・出席32名・欠席7名・出席規定免除会員7名・ビジター0名
前々回の修正出席率82.60%：出席28名・メイクアップ2名・出席規定免除会員8名



会長挨拶 / 馬場 貴博君



皆さんこんにちは、先週は少し肌寒い中、中央公園でのお花見は如何でしたでしょうか？予報では週末に満開のはずでしたが残念ながら2分いや3分咲き程度でしたでしょうか。しかしながらお子さん、奥様たち含め60名近くの皆様にお集まりい

ただきました、桜がなくともこんなに多く参加していただき感謝申し上げます。

さて今月は環境月間です。RIのホームページによれば、ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じ、「環境を守る」・「気候変動」・「生息地を救う」をキーワードに、ロータリークラブやロータリアンの活動を促していますとあります。桜を愛でることも環境を守り自然に感謝するこれもロータリー活動の一環なのでしょう。

さて本日は、株式会社 微研テクノスの川棚常務にお越しいただき卓話をお願いしております、今月の環境月間にふさわしい、まさしく環境を守るお仕事の会社です。因みに私の会社も井戸水の水質分析でお世話になっています。川棚様宜しくお願い致します。

RePort

幹事報告 / 片桐 康利君

1. 例会変更・休会

* 佐世保南ロータリークラブ

4月19日(金) 18:00～※観桜例会のため
ホテルオークラ JR・ハウステンボス 1F「鳳」

2. 来信

・ 佐世保東南ロータリークラブ

市内8RC第7回会長・幹事会議事録

ロータリー情報

職業奉仕委員会 馬渡 圭一委員長

先週の佐世保魚市場での職場訪問例会、寒い中沢山の会員の皆様にお集まりいただきありがとうございます。お陰様で無事に事業を終える事が出来ました。



ニコニコボックス

馬場 貴博会長・宮崎 正典副会長・片桐 康利幹事

本日の例会は、株式会社微研テクノス 常務取締役 川棚 浩二様をお招きしての卓話となります。今月は環境月間ということもあり、地球温暖化及び各種汚染物質による生態系への影響等を日々研究されております。本日の卓話により、目まぐるしいスピードで世の中が変化していく中で自分達ができる事を少しでも見つけられればと思います。皆様本日もよろしく願いいたします。

崎元 英伸君

結婚記念日のお花届きました。ありがとうございます。

前田 眞澄君

新入会員の春本竜太君のご入会を心より歓迎いたします。そして、本日は卓話でお越しの株式会社微研テクノス 常務取締役 川棚 浩二様のご来訪歓迎申し上げます。微研テクノスさんとは来年施設のアスベスト、除去工事において環境調査や成分検査などを行ってまいります。本日の卓話、楽しみにしています。

岡 光正君

佐世保市より有限会社みずや黒島工場が、衛星優良店の表彰を頂き、今回は5年連続で荣誉ある「特別表彰」を頂きました。今後、より一層精進し安心安全に努めて参ります。また、先日の長崎新聞にウルトラウォークラリー実行委員長として記事を掲載して頂きました。開催まで1か月となりました。吉野

君、古賀勝君、牟田君も頑張っていますので、応援よろしくお願いします。

川野 知文君

昨日は結婚記念日のお花、ありがとうございます。すっかり忘れていました。今朝、会社に行くときに玄関に置いてあるのを見て結婚記念日の事を思い出しました。今日の夜にプレゼントでも渡そうと考えましたが、委員会日でしたので来年にまわそうと思います。

片桐 康利君

本日の卓話者の株式会社微研テクノス 常務取締役 川棚 浩二様は私がサラリーマンをさせて頂いた時の上司になられます。お陰様で4年間修業をさせていただいて環境測量士を取らせていただきました。大変お世話になりありがとうございました。本日はどうぞよろしくお願い致します。

会員一同

新入会員春本さんを歓迎致します。

本日の合計	46,000 円
本年度の累計	964,500 円



本日の卓話

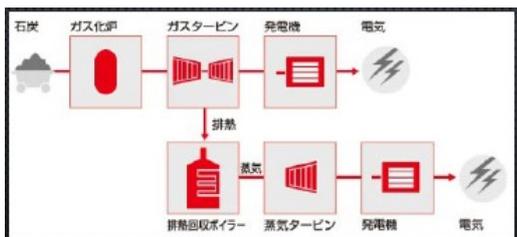
株式会社微研テクノス 常務取締役 川棚 浩二様



トピックス1：地球温暖化対策に関すること

地球温暖化対策として、再生可能エネルギー（太陽光発電や風力発電）が国策として推進されています。しかし、自然条件により出力が変動する自然変動電源（VRE）のため、火力発電によるバックアップが必要です。

そこで、国は石炭火力発電所のうち、非効率な施設を削減するとともに、発電所の一部を石炭からガスをつくり発電する石炭ガス化複合発電（IGCC）※に改造すると発表しました。



※石炭ガス化複合発電（IGCC）

石炭をガス化炉でガス化し、さらに、ガスタービン・コンバインドサイクル発電（GTCC）と組み合わせることにより、発電効率と環境性能を飛躍的に向上させた次

世代の火力発電システム

この石炭ガス化複合発電（IGCC）により、CO₂の排出量を10%以上削減です。

将来的には燃料に水素やバイオマスを使ったり、CO₂を回収・貯留、有効利用する技術も導入し、2050年までにCO₂排出ゼロを目指すと言われています。CO₂回収・貯留（CCS）技術は、排ガス中のCO₂を選択的に大量溶解できるモノエタノールアミン（MEA）などのアミン水溶液を排ガスと接触させ、液体中にCO₂を吸収する技術です。排ガス中に含まれるCO₂を90%以上回収可能で、吸収液中のCO₂の純度は99.9%に及ぶとされています。

弊社も発電所で排ガスや排水等の測定・分析を行ってききましたが、新しいプロセスが導入されると、対象成分はこれまでと大きく異なり、これまでの測定項目が変更になると予想されます。

時代の流れと共に、測定・分析設備や技術も更新していく必要があります。

トピックス2：化学物質から労働者の健康を守ること

従来のが我が国における有害作業の労働衛生管理の方法は、法令準拠型と呼ばれ、実施すべき事項を国が法令で細かく定め、それを事業者が遵守する形となっていました。

〈メリット〉

- ・法令を守っていれば必要最低限の管理はできる
- ・近年では作業環境の90%近くは第一管理区分（適切）〈デメリット〉
- ・作業環境が不適切（第3管理区分）の割合は減っていない
- ・化学物質による事故や疾病も減っていない
- ・化学物質による休業4日以上労働災害の約8割は、法規制物質以外により発生

※（3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン）

1,2-ジクロロプロパン、MOCAは、どちらも法規制対象外でした

⇒「法令にないことはしなくてよい」

「法規制されない物質へと随時変更」

→法令準拠型の弊害

この限界を打破するためには

法令を守りさえすればよいという受け身の管理ではなく、事業者による自律的管理が重要。

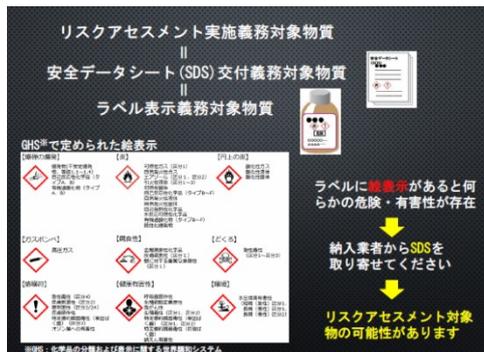
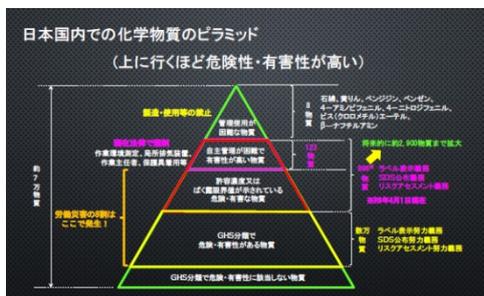
⇒国の方針が、法令に基づく物質・作業ごとの個別的な管理から、リスクアセスメントに基づく自律的管理へと方向転換しています。すべて労働者を雇う事業者の責任となります。

令和4年5月31日に労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令が公布され、すでに随時施行されています。

「リスク」を人に対する危険性、有害性とする、危険源による危害の程度（重大性）発生確率（可能性）の組み合わせで表すことができます。リスクアセスメントとは、業務において、どの作業でリスクが重大なのか？軽微なのか？を見積もることです。

リスク低減措置の優先順位

- ①危険な作業の廃止・変更（根本的な対策）
- ②工学的な対策（設備的な対策）
- ③管理的対策（人に頼った対策）
- ④個人用保護具の使用（暫定的な措置）



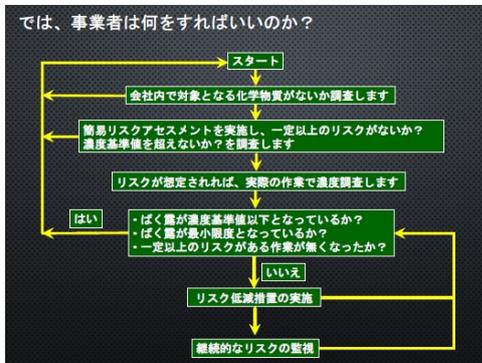
リスクアセスメント実施義務対象物質の場合、製造業等だけでなく、すべての業種が対象。

もし労働者に化学物質による疾病等が発生。
⇒事業者の責任

例えば、

- ・建設会社が行う室内塗装で使用する塗料で職人が中毒
- ・高齢者施設で清掃のために使う業務用洗剤で職員が手を薬傷
- など

ただし、一般消費者の生活の用に供される製品等は対象外です。(例えば、家庭用洗剤、自家用車の霜取り剤、家庭用除菌剤など)



リスクアセスメント以外にも実施すべきことは多数あります。厚生労働省のパフレットをご覧ください。ご不明点は、弊社までご連絡ください。

◆新入会員◆

株式会社春本工業
専務取締役 春本竜太君

職業分類：電気工事業



本日入会させていただきました、春本竜太です。
ロータリーを通じて会の皆様と色々な情報を共有していきたいと思っております。若い力で頑張ります！



SAA：井上 亮君
次回例会 4月11日 18：30～